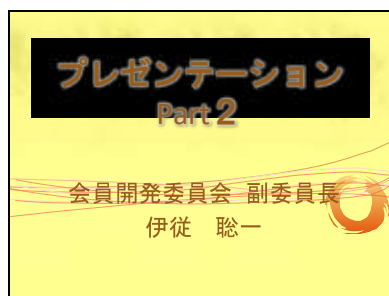


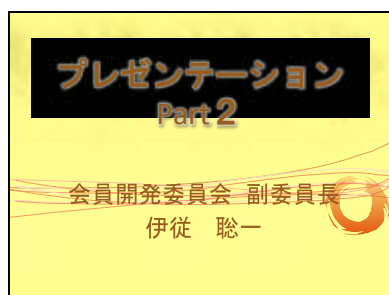
スライド 1



自己紹介

続きましてプレゼンさせていただきます、花巻青年会議所入会3年目となります。
押切食品の伊従と申します。
よろしくお願い致します。

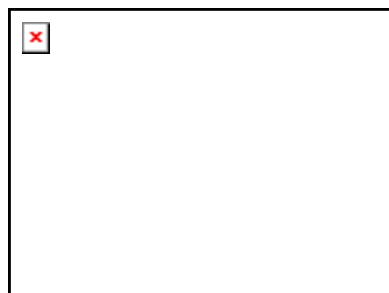
スライド 2



自己紹介

続きましてプレゼンさせていただきます、花巻青年会議所入会3年目となります。
押切食品の伊従と申します。
よろしくお願い致します。

スライド 3



初めに、、、

事業紹介の前に私自身と青年会議所とのこれまでの経緯をお話させていただきます。

青年会議所って何？

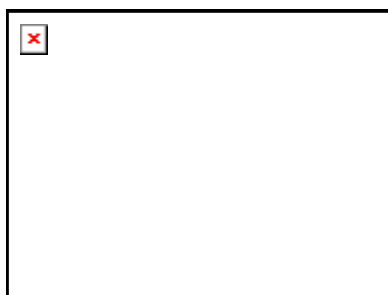
私は入会して2年と2ヶ月になりますが、入会前は青年会議所という存在も、その活動内容もほとんど知りませんでした。

スライド 4



実は入会するときもそんなに前向きだったわけではなく

スライド 5



画像1、2
むしろ色々な言い訳を探しつつ
断り続け

画像3
こんな本も読もうかと思いま
した。

スライド 6



ですが、最終的には先輩からの
お誘いから逃げられなくなり仕
方なく...

スライド 7



無事に入会となりました。

スライド 8



入会してからも、なんか変な集会に入ってしまったんじゃないかと疑っていました。

スライド 9



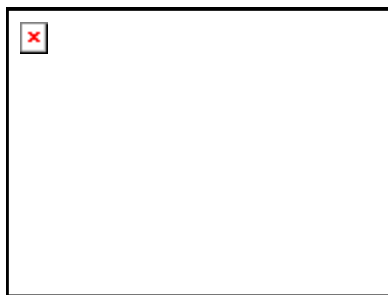
画像 1

今日お越しの皆さんも私たち青年会議所メンバーからの勧誘の電話があったかと思います。

画像 2

中にはお付き合いで半ば強制的に連れてこられた方もいらっしゃるかもしれませんが、その気持ちよくわかります。

スライド
10



画像1、2「マジすか!?!」
「私が!?!」

そんな当時から考えれば、まさか自分がここで青年会議所の事業をプレゼンすることになるとは思ってもいませんでした。

スライド 11



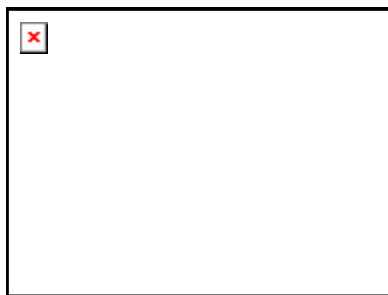
みなさんも青年会議所についてそれぞれのイメージがあるかと思いますが、どうか先入観を持たずに聞いていただければと思います。

スライド
12



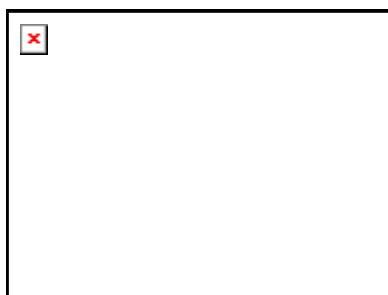
ではここからはちゃんとしたプレゼンに入ります。私からは花巻青年会議所としての大きな対外事業であります、わんこそば全日本大会

スライド
13



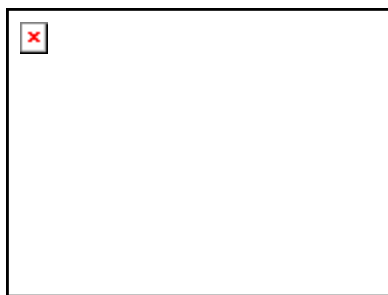
イーハトーブフォーラム花火大会

スライド
14



そして小学生から大学生までを対象に行っている青少年育成事業の3点をご紹介します。

スライド
15



わんこそば全日本大会

まずは「わんこそば全日本大会」です。

知ってはいけれど
今日、お越しの方で実際に参加したことがある方はいらっしゃいますか？*参加者と掛け合い

私は恥ずかしながら青年会議所に入会するまで会場に足を運んだこともありませんでした。

・ 第57回を迎えた歴史ある大会

この大会は毎年2月1日の建国記念日に行われ、今年で57回目を迎える伝統ある事業です。そして青年会議所が中心となり運営するようになってからは今年で4年目となります

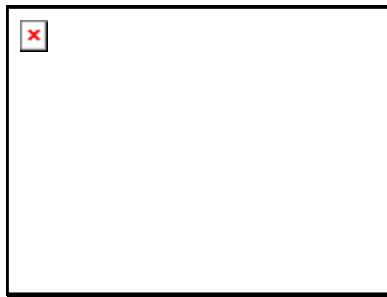
・ なぜ青年会議所が行うのか？

私たちのような若い世代がこのような伝統ある大きな事業を行うことによって、守るべき文化は守りつつ、新しいアイデアを取り入れ変化を加えることで、新しい価値を生み出し、幅広い世代に楽しんでもらうことができる大会になると考えております

・ 大会当日模様スライドショー

では、ここで当日の大会の様子を簡単にスライドショーにまとめましたので、ご覧下さい

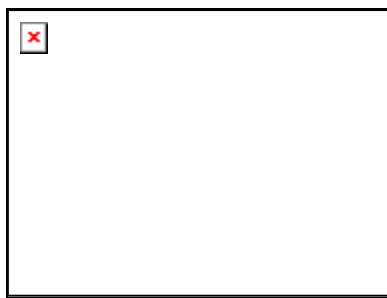
スライド
16



画像1
受付会場の様子です。
こちらが会場正面入り
口です。

画像2、3
正面入り口には、高校生
ボランティアにお出迎
えをしてもらっていま
す。

スライド
17

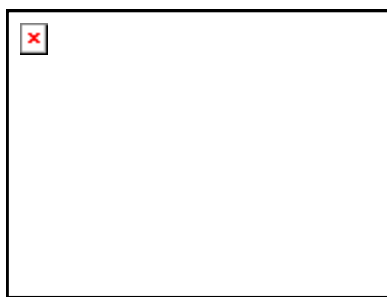


画像1
多くの市民の方がお見えになりま
す。

画像2
メンバーも一緒にお出迎えしま
す。

画像3
ぞくぞくと人がやってきます。

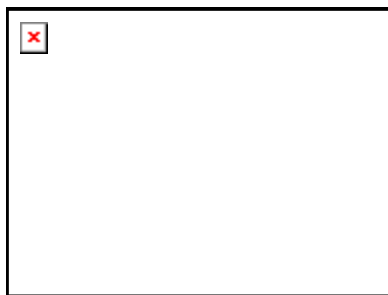
スライド
18



画像1
アッという間に席もほとんど埋ま
り、、、

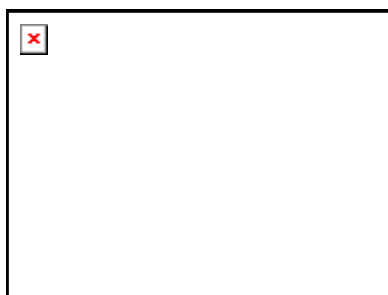
画像2
いよいよわんこそば全日本大会
が開会します。

スライド
19



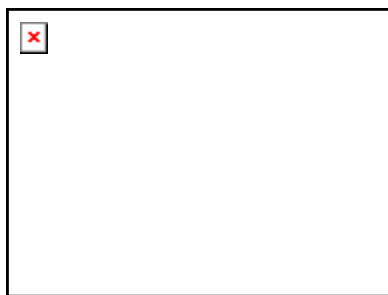
画像1、2、3、4
メンバーも裏方としてそれぞれの持ち場で準備、リハーサル等を行い、役割を担います。

スライド
20



画像1、2、3
当日は地元の高校生ボランティアにも手伝ってもらい大会を盛り上げてもらいます。

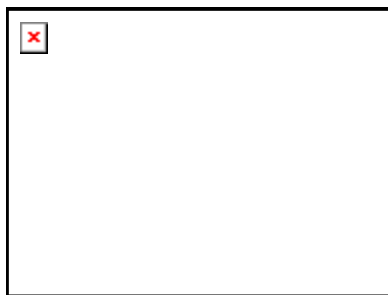
スライド
21



画像1
いよいよ競技スタートです。みんな頑張って食べています。

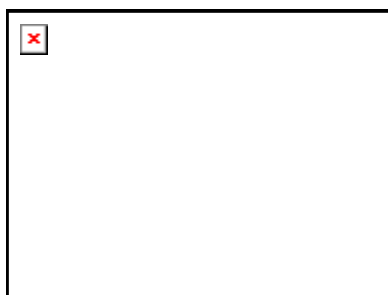
画像2、3
この大会は県外からの参加者も多く、青森から大阪まで個人戦、団体戦合わせて37名の参加がありました。

スライド
22



画像1. 2
会場は応援合戦もあり、大変盛り
上がります。

スライド
23

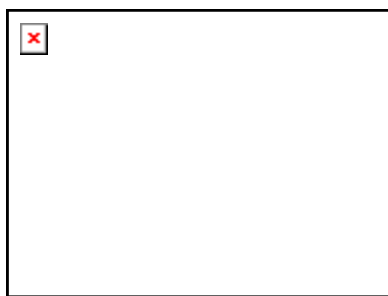


画像1
競技終了後はお楽しみ抽選会を
やり閉会式と表彰式です。

画像2
この方は219杯を食べ2年連続
で一番食べ横綱になった方です。

画像3
最後は上田市長から挨拶があり
大会は終了します。

スライド
24



大会終了後は来場者の方か
ら、、、

大会終了後には「毎年楽しみに
しています」や、「地元の伝統
文化を守る素晴らしい大会だと
思います」など評価のお声を頂
きましたので準備期間も長い
分、大会終了後は大きな達成感
があります。

より良い事業にするため、、、

それでも、毎年課題は見つかりますので、大会終了後は問題点を検証し、次年度はより良い大会になるように引き継いでいきます。

大切なまちの文化を継承するため

こうして、少しずつ改善を繰り返しながら、花巻独自の文化を守っていくことに繋がっていきます。

スライド
25



画像 1、
何より大きな事業ですので、私個人的には大会終了後のお疲れ様会が最高に楽しいです。

2、
私たちメンバーの中でも担当の委員会があり、

3、
その委員会への労いの意味も込めております。

準備期間も長く、プレッシャーもあった分、疲労もピークですが大いに盛り上がります。

画像 4
最後に高校生ボランティアのメンバーも一緒に集合写真です。

スライド 26



画像 1

続きまして、もう一つの大きな対外事業が、花巻の夏の風物詩となっております、イーハトーブフォーラム花火大会です。

スライド 27



画像 1、2、3

この花火大会の特徴は花巻の生んだ偉人、宮沢賢治の思い描いた理想郷であるイーハトーブを光と音を使い、表現することです。

この花巻独特の花火大会を楽しみに、毎年、市外、県外からも多くの方々が来場されます。

この事業では私たち青年会議所は、まず花火打ち上げ許可や通行止めの申請から始まります。その後、警察、消防との打ち合わせで当日の人員配置や緊急連絡の確認や、その他、去年の反省点を話し合い、大会に備えます。

当日は、会場設営と現場警備が主な仕事になります

スライド 28



画像 1

会場の観覧席用のブルーシートをセッティングします。

画像 2

みんなで手分けしての作業になります。

画像 3

メンバーで最終ミーティングを行い、

画像 4

いよいよスタートします。

スライド 29



画像 1

打ち上げ中は現場警備をし、

画像 2、3

終了後には撤収作業もします。

画像 4

無事に終了し、最後は集合写真です。

スライド 30



初めて知った花巻の花火

去年、初めて裏方として参加してみても何気なく毎年見ていた花火も大変な準備があるのだと知りました。

画像 1、2、3

たとえば道路脇に花火に関する看板を建てるのにもいろんな申請書類が必要で、しかもそれが国道、県道、市道でそれぞれ申請先が違うので、本当にもう勘弁してくれと思いましたが、その分、勉強させて頂きました。

そんなこんなもあり、去年は何度も

警察のお世話になりました。

スライド 31



青少年育成事業

他にも青少年育成事業にも取り組んでいます。

UC (ユナイテッドチルドレン)、

画像 1

花巻UCとはユナイテッドチルドレンの頭文字をとった事業名称で、主に花巻市内の高校生を中心に組織されています。

スライド 32



画像 1

彼らが主体的に地元の未来を考え、具体的に行動することで自立性や創造性、郷土愛を育むことを目的としています。

画像 2

これまでの具体的な活動としては、被災地支援として炊き出しを行ったり、

画像 3

釜石青年会議所、遠野青年会議所とともにキャンプ事業を行いました

スライド 33



画像 1、2、3

また、昨年は「花巻を花で彩る活動」
として駅前花壇や花巻市総合体育館
の花壇の維持、管理を行いました。
私たち青年会議所はUC活動の管
理・監督など、後方支援を行います。

スライド 34



画像 1、2、3、4

同じく青少年育成事業として、昨年
「学びの夏休み」というものを開催
致しました。この事業は、いま現在
と被災当時、沿岸地域に住んでいた
児童生徒と県内の大学生と、東京か
らきてくれた大学生、そして青年会
議所メンバーで2泊3日という共同
生活をし、学習を通じて世代間交流
を図り、児童生徒には学ぶことの楽
しさを知ってもらい、また、大学生
という身近な大人と触れ合うことで
将来への夢や希望を持ってもらうこ
とを目的とし、大学生には被災地の
現状を知ってもらい、被災地に関心
を持ち続けてもらうことを目的に実
施されました。

スライド 35



画像 1

実際に、児童生徒からは大学生のお兄さんやお姉さんのようになりたいといった声や勉強がわかるようになったといった声もあり、

画像 2

中にはこの事業後も大学生とのやりとりをしている子もいました。こうした活動を私たち青年会議所がサポートすることで、世代を越えた継続的なまちづくりができるものと考えます。

画像 3

子供たちには私達大人には考えつかない地域への想いや将来への希望の形があり地域の活性化に必要な事業だと思いました。そして、子供たちはまちの宝物だとあらためて感じる事が出来ました。

スライド 36



自分なりに活動してみて

すべてではありませんが、いくつかの活動を紹介させていただきました。

画像 1、2、3

これまで青年会議所の一員としていろいろな事業に参加し、そのほとんどはここでしか経験できないものだと感じています。

普段は聞けない話やこの場でしか学べなかったこともたくさんあります。

画像 4

こちらの東国原さんの講演会は来月行う予定になっておりますのでぜひお越しください。

画像 4

本当にここでしか出会えなかったというメンバーも多くいます。

スライド 37



画像 1 (フラワーロールちゃん)

私自身、少しずつですが考え方が変わってきたことを実感しています。まちづくりは自分には関係ないと思っていたし、会社の世代交代はまだまだ先のことだと思っていました。最近、これらを真面目に考えるようになってきました。

これも身近に会社の経営をしているメンバーや真剣に花巻のまちづくりを考えているメンバーと一緒にいることで影響されている部分は大きいです。

皆さんの中にも何か新しいことにチャレンジしたいとか自分自身で何か変わりたいと思っているのであれば、青年会議所での活動はいいきっかけになると思います。

スライド 38



最後になりますが、青年会議所はもちろんだ変なことも多いですが、本当に多くを学べる場です。

ぜひ私たちと一緒に活動し、花巻を盛り上げていきましょう。

皆様の参加を心よりお待ちしております。